



初戦の対戦校、誉の投手陣を想定した打撃練習を行う八学光星ナイン。4日、京都府久御山町

光星ナイン

初戦想定 打撃練習入念

全国高校野球あす開幕

6日の第101回全国高校野球選手権開幕戦で、誉（愛知）と対戦する八学光星ナインは4日午後、京都府久御山町のNTT淀総合運動場で練習に励んだ。最高気温36度の猛暑の中、ナインは

誉が擁する2投手を想定した打撃練習に時間を割いた。誉は、今夏の県大会に全国最多188校が参加した「戦国愛知」の覇者。制球力が持ち味の左腕山口が守備のリズムをつくり、勝利してきた。練習は午後1時から2時間行なった。ナインは、打撃練習で杉本と山口のフォームを再現した左右の打撃投手や、マシンを

徹底的に打ち込み。「膝から下の球は振るな」と仲井監督のげきか飛ぶ中、選手たちは元気に声を出しながら、バットを振り続けた。県大会で全国トップの20打点を挙げた近藤は「調子はなかなかいい。開幕戦では来た球を無心で振り抜き、令和の大会初本塁打を狙いたい」と意気込んだ。光星ナインは5日、兵庫県西宮市の阪神甲子園

球場で開会式のリハーサルに臨む。（大久保拓地）